

公 開 文 書

研究課題名 (研究番号 710)	脳室内出血予防を目的とした超早産児に対するニトログリセリン投与に関する後方視的検討
当院の研究 責任者(所属)	南谷 曜平(新生児内科)
他の研究機関 および各施設の 研究責任者	なし
本研究の目的	脳室内出血は早産児特有の合併症の1つであり、重症脳室内出血は超早産児の脳性麻痺や重度神経発達障害の原因となります。脳室内出血に対する確立された予防法は存在せず、施設ごとに鎮静薬や利尿薬投与による血圧コントロールを含む様々な循環管理が行われていますが、本邦では過去 20 年間で脳室内出血の発症率はほとんど改善していません。 国内の一部の施設では、脳室内出血のリスクが高い急性期の超早産児に対して、血圧上昇時に脳室内出血の予防を目的としてニトログリセリン投与が行われています。当院でもこれまで標準的治療として、生後 72 時間以内の超早産児に対して血圧上昇時のニトログリセリン投与を行ってきました。しかし、ニトログリセリンの脳室内出血予防効果について検討された報告は少なく、その有効性や安全性に関する科学的根拠は限られています。 本研究では、当院 NICU でニトログリセリン投与を行った児について、その効果や安全性に関する後方視的な解析を行います。本研究結果は、超早産児の脳室内出血予防策を確立する一助とり、児の合併症なき生存と良好な発達・発育に貢献する可能性があります。

調査データ 該当期間	2019 年 10 月から 2024 年 12 月に出生した在胎期間 26 週未満の早産児で、当院 NICU に入院して生後 72 時間以内にニトログリセリン投与を受けた方を対象とし ます。
研究の方法	電子カルテより対象となる患者さんの診療情報を収集 して解析を行います。
個人情報の 取扱い	研究で利用する情報には氏名や住所等の個人を特定 し得る情報は含みません。研究成果を論文として発表 する場合にも、個人を特定できる情報は一切公表しま せん。
本研究の資金源 （利益相反）	ありません。
お問い合わせ先	熊本市民病院 新生児内科 南谷 曜平 電話番号：096-365-1711
備 考	なし